

# 12月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども  
・豊かに感じる子ども  
・考え工夫する子ども

R6. 11. 29 文京区立本駒込幼稚園



## 開園50周年記念式典に向けて

主任 高島 寛子

朝夕に冷たい風が吹くようになりました。冷たい風を受けて、街の街路樹も少しずつ紅葉が進むようになりました。秋の深まりを感じます。本駒込幼稚園のシンボルツリーの梅檀も、紅葉とともに実を落とし、園児たちを楽しませています。

幼稚園では秋の果物が実りを迎えています。先日はザクロとカキを収穫しました。「あの実、美味しそう！」「落とさないように気を付けよう！」と、どの幼児、そして教師も職員も、みんなで収穫を楽しんでいました。本駒込幼稚園の豊かな自然環境が生み出す、素敵な光景と感じました。

さて、今月は本園の開園50周年記念式典及び祝いの集いを行います。いよいよ迎える、10年に一度の一大行事。年度当初から少しずつ準備を進めてまいりました。

開園50周年ということはどういうことか、子どもたちに聞いてみますと、「幼稚園が、50歳ってこと」「すごくてたくさんの方が幼稚園で遊んだということ」「幼稚園が大きくなった、大きくなるってすごいこと」など、幼児なりの可愛らしい返答がありました。年長組に聞いてみると、「もっとたくさん遊べる場所が増えてたらいいな」「ずっと先生たちが本駒込幼稚園にいてくれたらいいな」「大きくなっても幼稚園があるといいな」など、幼稚園の今後についても話が広がっていくのが面白いと思いました。

そんな幼児の思いを形に、前述した幼児の言葉は、式典の中で「お祝いの歌と言葉」として発表します。「祝いの集い」ではリズム表現として運動会で披露したものにさらにアレンジを加えて、ご来賓と保護者の皆様に披露し、50周年をお祝いします。

式典にはたくさんのご来賓の方がお見えになる予定です。式典の趣旨を説明すると「お手伝いします！」とさつき会の役員の方々が快くご協力いただけることを嬉しく、また、本駒込幼稚園の温かさを感じました。

教職員も、それぞれが自分のできることは何かを考え、たくさんのお話し合いを重ねてまいりました。園内展示として、園の昔のアルバムから写真を抜粋し、本園の歴史が分かる「園歴史展」を作成しています。親子製作として、保護者の方にご協力いただいて世界に一つだけの、自分だけの花器を作ることを提案し、保護者の皆様にご協力いただいて作成しました。これから園長による「わくわく生け花」で、幼児の自由な発想と花を大切に、幼児自身で生花をその花器に生ける予定です。式典当日に園内に飾って園内を彩ります。そして、本駒込幼稚園のシンボルツリーの梅檀と、カキやビワの葉など幼稚園にある豊かな自然物を煮出して染めたハンカチも、記念品の一つに加えています。他にも記念誌、園児の製作物など、一つ一つにたくさんのお思いを込めています。

まもなく式典当日を迎えます。これまでの園の歴史に感謝し、未来に繋いでまいります。引き続きどうぞよろしくお願ひいたします。



幼稚園の葉っぱを集めて、ハンカチ染めにするよ！



美味しそうな柿だね！